

■ 「効果の見える治水事業」

愛媛県 ^{たていわ}立岩海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業

『立岩海岸一津波・高潮について海岸づくり』

愛媛県中予地方局建設部長 ^{さかもと}坂本 ^{つぐお}次男



■ 事業の概要

立岩海岸は、高縄半島の西部、伊予灘に面し前方に「鹿島（かしま）」を望む延長 1,670mの風光明媚な海岸で、背後には平地が広がり人家等が建ち並ぶほか、幹線道路である国道 196 号や JR 予讃線が走っています。

また、当海岸は「波妻（はずま）の鼻」と呼ばれる景勝地であることから、海岸環境整備事業で整備した海浜を中心に、海岸背後に複合運動施設である「北条スポーツセンター」や「道の駅風和里（ふわり）」が整備され、人々の交流拠点として賑わいを見せています。

当海岸では、沿岸域の保全のため設置された護岸や樋門等については、昭和30年から40年代に整備されたものが多いため、老朽化が進み、樋門の作動不良や護岸の損傷等、施設の機能低下が見られておりました。

このため、東南海・南海地震に伴う津波や台風による高潮・波浪等の発生時には、背後地に甚大な被害が発生する恐れがあるとして、地元から施設改良の強い要望が寄せられていました。

このため、津波・高潮危機管理対策事業により、樋門の扉体の更新や巻上げ機の交換に併せた電動化への改良、護岸の補強等を実施し、平成24年度に完了しており、背後地の安全性の向上を図ることができました。

【事業概要】
 事業名 津波・高潮危機管理対策緊急事業
 事業期間 H23～H24
 事業内容 樋門改良 N=3 基
 護岸破堤防止 L=200m



立岩海岸と道の駅「風早の郷 風和里」



松山市長 ^の野 ^し志 ^{かつ}克 ^{ひと}仁

松山市は、北西部の瀬戸内海に浮かぶ中島から高縄山系のすそ野の平野を経て、重信川と石手川によって形成された道後平野へと広がっています。また、気候は温暖な瀬戸内海気候で、全体に降水量は少なめで、積雪もごく少量、台風の通過も太平洋側の高知県や徳島県に比べれば少なく、穏やかで恵まれた気候条件です。

本市では、この気候を利用し、温暖化対策等のために太陽光発電システムへの補助を行っています。中核市では最多の補助実績を誇っており、また、市民一人当たりのごみ排出量は、50万人以上の都市では、平成18年度から6年連続で日本一少ない都市となっています。このような取組実績から、温室効果ガスの大幅な削減など、低炭素社会の実現に向け、先駆的な取組に挑戦する環境モデル都市として、選定を受けています。

穏やかな瀬戸内海と、自然豊かな高縄山に囲まれている立岩海岸は、本市北部に位置しています。その区域内には、海岸環境整備事業として整備が行われ、長さ約300mの砂と小石が入り混じった渚があり、利用者からは親しみを込めて「長浜海岸」と呼ばれています。現在では、夏場の海水浴スポットとしてにぎわうだけでなく、ビーチバレーなどのスポーツイベントにも利用されています。

また、立岩海岸は、美しい夕日が見られるドライブスポットとしても親しまれています。国道 196 号を挟む向かい側には、道の駅「風早の郷 風和里」があり、ドライブ時の休憩だけでなく、取れたての新鮮な野菜や柑橘、特産品なども購入でき、年間を通して多くの方が立ち寄られています。

また、道の駅「風早の郷 風和里」に近接する北条スポーツセンターは、平成29年に開催される「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」のサッカー・ハンドボール競技会場に内定しています。この機会に、長浜海岸と道の駅、そしてスポーツ施設の連携による相乗効果も含めた、効果的な活用方法を模索するとともに、地域の魅力を高め、にぎわいづくりに努めていきたいと考えています。



海水浴利用風景

ビーチバレー大会

ふわり納涼まつり